

(4) 指標生物の出現状況

指標生物の出現頻度及び最も数が多いと報告された指標生物(優占種)の出現頻度は、表 4 のとおりである。

＜表 4＞ 指標生物の出現頻度及び優占種となった指標生物の出現頻度

水質階級	指標生物	指標生物(○+●)		出現割合(%)	優占種(●)	
		頻度(回)	割合(%)		頻度(回)	割合(%)
I きれいな水	1 アミカ類	0	0.0	41.5	0	0.0
	2 ナミウズムシ	6	7.3		4	14.3
	3 カワゲラ類	4	4.9		0	0.0
	4 サワガニ	4	4.9		2	7.1
	5 ナガレトビケラ類	4	4.9		1	3.6
	6 ヒラタカゲロウ類	5	6.1		3	10.7
	7 ブユ類	0	0.0		0	0.0
	8 ヘビトンボ	4	4.9		1	3.6
	9 ヤマトビケラ類	4	4.9		1	3.6
	10 ヨコエビ類	3	3.7		2	7.1
II ややきれいな水	11 イシマキガイ ※	1	1.2	28.1	0	0.0
	12 オオシマトビケラ	2	2.4		2	7.1
	13 カワニナ類	4	4.9		0	0.0
	14 ゲンジボタル	1	1.2		0	0.0
	15 コオニヤンマ	4	4.9		0	0.0
	16 コガタシマトビケラ類	5	6.1		4	14.3
	17 ヒラタドロムシ類	1	1.2		0	0.0
	18 ヤマトシジミ ※	5	6.1		1	3.6
III きたない水	19 イソコツブムシ類 ※	0	0.0	23.2	0	0.0
	20 タニシ類	2	2.4		1	3.6
	21 ニホンドロソコエビ ※	2	2.4		0	0.0
	22 シマイシビル	4	4.9		1	3.6
	23 ミズカマキリ	4	4.9		1	3.6
	24 ミズムシ	7	8.5		3	10.7
IV きとたない水	25 アメリカザリガニ	1	1.2	7.3	1	3.6
	26 エラミズ	1	1.2		0	0.0
	27 サカマキガイ	2	2.4		0	0.0
	28 ユスリカ類	1	1.2		0	0.0
	29 チョウバエ類	1	1.2		0	0.0
合 計		82	99.9	100.1	28	100.1

(注) ※は、海水の少し混ざっている汽水域きすいいきの生物

(注) 割合については四捨五入のため、合計が 100%にならないことがある。